

佐久市五郎兵衛記念館運営委員会次第

日 時 令和3年6月30日(水)
午後3時～

場 所 五郎兵衛記念館 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和2年度事業報告について

(2) 令和3年度事業計画(案)について

(3) その他

4 閉 会

令和2年度 佐久市五郎兵衛記念館事業報告

1 管理運営

- (1) 開館時間 午前9時～午後5時
- (2) 開館日数 256日
- (3) 休館日 毎週火曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始：12月29日～1月3日
臨時休館：4月8日～5月31日
（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館）
- (4) 入館の状況（令和3年3月末現在）
* 入館者数 435名（前年同期 2,621名、83.4%減）

2 主要事業

- (1) 春季企画展「日本列島佐久がことはじめ」展
 - ア 期間 令和2年4月14日（火）～令和2年5月6日（水）
 - イ 場所 記念館研修室
 - ウ 内容 収蔵古文書をもとに、知られていない佐久の祖先たちが社会を変えてきた事績について、分かり易い企画展示を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、臨時休館としたため、開催を中止とした。
なお、ホームページ上で同様趣旨の情報の発信に切り替え、市内外から大きな反響を得ることができた。
- (2) 年度末企画展「拓本その世界」展
 - ア 期間 令和3年3月23日（火）～3月28日（日）
 - イ 場所 記念館研修室
 - ウ 内容 館の収蔵保管する歴史的史資料は、文字で記録した古文書だけでなく、絵図や拓本等膨大にある。その中にNHK大河ドラマ「青天を衝け」主人公渋沢栄一に関係する拓本があることから、企画展を開催した。
また、この催しを意義あるものとするため、世界文化遺産マヤ文明パレンケ遺跡の学術的にも大変貴重な拓本も、研究者の特別好

意で同時展示をすることができた。

(3) 古文書を読む会

- ア 期 日 毎月第2木曜日)
- イ 場 所 記念館研修室
- ウ 内 容 館が収蔵する大切な近世村方古文書を実社会で生かすため、毎月収蔵古文書を教材に、読解力養成講座を開催した。
- エ 講 師 元五郎兵衛記念館長 春原邦江氏
- オ 年間受講者総数 168名(コロナ対策として3.4.5月休講)

(4) 古文書調査報告会

- ア 期 日 令和2年9月9日(日)午前10時～正午
- イ 場 所 記念館研修室
- ウ 内 容 令和2年度の古文書翻刻成果「古文書調査報告書第13集」について、担当した職員から分かり易く解説する会を開催した。
- エ 演 題 五郎兵衛用水を利用した近代的水道施設の供用開始
古文書目録第二集 H用水・普請について
用水の維持管理に係る費用について
- オ 参加者数 16名

(5) 古文書調査報告書の刊行

- ア タイトル「佐久市五郎兵衛記念館古文書調査報告書期第14集」
- イ 内 容 史料紹介 「御用留」=そこからわかること
" 古文書目録第二集 H用水・普請について
- ウ 規格・刊行部数 B5版50ページ 300部

3 その他事業

(1) 館収蔵諸史料に関する調査研究の推進

ア 学習院大学資料館

コロナ対策で、直接の職員交流は自粛したが、寄託古文書の翻刻進捗状況について、逐次報告確認を得ることができた。

イ 神奈川大学日本常民文化研究所

館収蔵古文書の民俗学の立場から見識を伺うため佐野賢治教授と連絡を保つことができた。

ウ 風土工学デザイン研究所及び環境防災研究所

従来の土木工学の手法に、環境防災の観点を加えた風土工学の推進者竹林征三博士から、五郎兵衛用水の建設技術について数々貴重な研究成果の教えが得られた。

エ 渋沢栄一記念館・渋沢資料館

当館収蔵渋沢栄一関係文書をもとに、佐久市と渋沢栄一について情報の共有が引き続きできた。

(2) 広報・宣伝（情報発信）等

ア 世界かんがい施設遺産関係

農林水産省の「世界かんがい施設遺産」情報発信ホームページから国へ、館の事業・情報を発信することができた。

イ 地域への情報提供

佐久平で一番読まれている生活情報誌「週刊さくだいら」2月4日・3月18日号で記念館の古文書からの情報を発信できた。

ウ 情報発信

日本農業新聞1月8日号で、紙面1ページ全面を使って「世界かんがい施設遺産登録五郎兵衛用水」が記事化された。

五郎兵衛記念館利用状況

H30～R2年

(単位：人、円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
30年度	717	134	104	169	171	210	1,505	350	280	141	53	57	277	1,158	2,663
R1年度	721	186	157	175	251	268	1,758	345	276	104	52	64	22	863	2,621
比較R1-H30	4	52	53	6	80	58	253	△ 5	△ 4	△ 37	△ 1	7	△ 255	△ 295	△ 42
伸率	0.6	38.8	51.0	3.6	46.8	27.6	16.8	△ 1.4	△ 1.4	△ 26.2	△ 1.9	12.3	△ 92.1	△ 25.5	△ 1.6
R2年度	5		46	68	25	43	187	43	38	28	30	35	74	248	435
比較R2-R1	△ 716	△ 186	△ 111	△ 107	△ 226	△ 225	△ 1,571	△ 302	△ 238	△ 76	△ 22	△ 29	52	△ 615	△ 2,186
伸率	△ 99.3	△ 100.0	△ 70.7	△ 61.1	△ 90.0	△ 84.0	△ 89.4	△ 87.5	△ 86.2	△ 73.1	△ 42.3	△ 45.3	236.4	△ 71.3	△ 83.4

入館者数

令和3年度 佐久市五郎兵衛記念館 事業計画(案)

1 主要な事業について

(1) 収蔵古文書の適正管理

条例第5条に規定されている収蔵古文書の適正管理について、古文書寄託者学習院大学資料館と引き続き連携を密にして翻刻作業を進めていく。

(2) 館収蔵史資料に関する講演会等の開催

条例第5条に規定の史資料に関する講演会、講習会、研究会等について、次の通り計画し開催する。

① 企画展「関所破りの桜とふるさと風景写真展」

- ・ 期 間 令和3年4月22日(火)～5月5日(水)
- ・ 内 容 地元写真クラブ員撮影、関所破りの桜と、館に寄託の元朝日新聞社写真部員撮影、昭和30年代農村風景の写真展。

② 企画展「五郎兵衛用水を測る」展(仮称)

- ・ 期 間 令和4年3月16日(土)～3月24日(日)
- ・ 内 容 世界かんがい施設遺産五郎兵衛用水の開発に欠かせない測量と和算についての企画展

③ 古文書を読む会

- ・ 期 間 毎月第2木曜日 19時30分から21時まで
- ・ 場 所 記念館研修室
- ・ 内 容 歴史の宝庫、館収蔵古文書をテキストに古文書読解能力の錬成と、生きた郷土誌を学ぶ市民向け講座の開催
- ・ 講 師 元五郎兵衛記念館長 春原邦江氏

④ 古文書調査報告会

- ・ 期 日 令和3年9月5日(日)午前10時から正午
- ・ 場 所 記念館研修室
- ・ 内 容 五郎兵衛記念館の行っている古文書翻刻活動の成果について、3月刊行の古文書調査報告書第14集を元に、翻刻者から市民へ報告会の開催

⑤ 五郎兵衛用水を歩く会

- ・ 期 日 令和3年7月25日(日)午前7時40分浅科小学校集合、解散16時
- ・ 内 容 世界かんがい施設遺産指定五郎兵衛用水の全貌を市民に詳しく伝えるため、現地見学会の開催

⑥ 古文書調査報告書の発行

- ・ 期 日 令和4年3月に刊行
- ・ 内 容 タイトル 「佐久市五郎兵衛記念館古文書調査報告書 第16集」

(3) 広報・宣伝（情報発信）等

- 1) 世農林水産省特設ホームページを利用し、世界かんがい施設遺産五郎兵衛用水の情報発信を進める。
- 2) 佐久市観光協会と協力し、五郎兵衛用水、また館収蔵古文書の語る渋沢栄一を観光資源とする企画を共有していく。
- 3) 佐久市文化施設と協働の活発化
 - ① 佐久市文化協会と連携し 11月13・14日開催の市民ミュージカル「市川五郎兵衛」の開催成功を図る。
 - ② 中央図書館行事「佐久の先人を語る」トークイベントへの開催協力。
 - ・ 5/29 市川五郎兵衛 6/26 中澤周三 10/30 竹内好
 - ③ 中央公民館
 - ・ 「佐久の先人」竹内好について、館報特集への協力
 - ・ 渋沢栄一に関する教養講座への協力
 - ④ 市民団体からのまちづくり講座協力要請への対応
 - ・ 五郎兵衛用水・渋沢栄一にちなむ講座講師の受託